



キャリア教育プログラム② オリエンテーションを実施しました！

11月2日(木)5,6時間目の総合的な学習にて、キャリア教育プログラム②のオリエンテーションを実施しました。9月は、「様々な立場の人の抱える課題を知る」「様々な立場の人の課題を解決し、仕事にしている人の話を聞く」ことを行いました。個人レベルの課題から社会の課題まで幅広く知り、その解決に挑む方が、どのような想いをもって支援や活動をしているかを聞きました。

11月以降は、身近な課題・社会の課題などの中から興味のある分野を選び、その中でチームになって解決したい課題を決めて、その解決策を考え、提案していきます。

今回は、「身の回りの商品・サービスが解決している課題を知る」「いい困りごとを見つける」をテーマに授業を実施しました。

5時間目 オリエンテーション&身の回りの商品・サービスが解決している課題を知る

最初に、下野先生から、これまでの学習のおさらいと、このプログラムを通して身に付けてほしい力についての話がありました。

<プログラムを通して身に付けてほしい力>

01. 人と関わる力
(人間関係形成・社会形成能力)
・他者の個性を理解する力
・他者に働きかける力
・コミュニケーションスキル
・チームワーク
・リーダーシップ

02. 自分を知る・コントロールする力
(自己理解・自己制御能力)
・自分の強みや得意分野を知る力
・自分の弱みや苦手分野を知る力
・自分の価値観や信念を知る力
・自分の目標や夢を知る力
・自分の行動力を知る力

03. 課題を見つけ、解決する力
(課題対応能力)
・情報の理解、選択、処理
・本質の理解
・原因の追究
・課題発見
・計画立案
・実行力
・評価、改善

特にこの2つの力を伸ばしていきます！

<課題解決に挑戦する理由>

身の回り・社会の
「できない(困った)」を解決
仕事の本質を学ぶ

<今後やること>

3. 身の回りや社会の課題を
解決するアイデアをプレゼンする

困りごと
こうなったらいいな

新しい商品・サービスを
考える

続いて、キャリアナビゲーターの渡邊より、「身の回りの商品・サービスが解決している課題を知る」ための話やワークを行いました。

<授業の様子>



<授業スライド>

■ 新しい商品・サービスは誰かの困りごとから生まれる

分身ロボットカフェ
「DAWN」

遠く離れたところにいる
従業員が、分身ロボットを
遠隔操作してサービス
を提供するカフェ

■ 新しい商品・サービスは誰かの困りごとから生まれる

しかも・・・

仕事として行うと**メリット**もある

- 働いてくれた人に労働の対価(=お金)を渡せる
- より多くの人を助けることができる
- 安定的に・継続的に活動を行いやすい

■ 身の回りの商品・サービスが誰かの「どんな」困りごとを解決しているか

STEP2

選んだ商品・サービスが
「誰の」「どんな困りごと」
を解決しているか考えてみよう

※ヒント: 正解を導く必要はなく、想像でもOK

世の中にある商品やサービスが、誰のどんな課題を解決しているかを考えました。例えば、分身ロボットカフェ「DAWN」というサービスは、遠隔でロボットを操作して接客をしています。誰のどんな課題を解決していたか、覚えていますか？

このように課題を解決するうえでボランティアではなく、商品・サービスにして仕事につなげることには**3つのメリット**があるという話をしました。

実際に、自分の身の回りにある商品やサービスを挙げて、それが誰のどんな困りごと(課題)を解決しているか、考えました。

例: めがね

視力が低い人の
遠くが見えない困りごとを解決！

6時間目 いい困りごとを見つける

各教室で担任の先生から授業を行っていただきました。まずは、ロイロノートを用いて、3つのワークを実施しました。



<授業スライド(実施したワーク)>

■ 新しい商品・サービスの種になる困りごとを見つける

STEP1

自分が**興味のある分野やモノ、コト**をできるだけたくさん書き出そう

<書き方の例>

自分が興味のある分野やモノ、コトをできるだけたくさん書き出そう!

ゲーム、歴史、釣り、料理、サッカー読書、ファッション、車・・・

Copyright © Gakken Co., Ltd. All Rights Reserved.

■ 新しい商品・サービスの種になる困りごとを見つける

STEP2

① **最も興味のある分野やモノ、コト**

その中から**最も興味のある分野やモノ、コト**を1つ選ぼう

※後から変更してもOK!

Copyright © Gakken Co., Ltd. All Rights Reserved.

■ 新しい商品・サービスの種になる困りごとを見つける

STEP3

選んだものに関する困りごとを10以上書き出しましょう。

書き方: 「誰」の「こんな困りごと」

※「誰」の「こんな困りごと」という書き方で

Copyright © Gakken Co., Ltd. All Rights Reserved.

書き出した困りごとの中で、「いい困りごと(=商品やサービスにつながるような課題)」の条件に当てはまるものを考え、選んで学年全体で共有をしました。

<授業スライド(いい困りごとの条件)>

■ 「いい困りごと」の条件

「いい困りごと」の3つの条件

- ① 解決したいと心から強く思っている
- ② 大きな課題
- ③ まだあまり気づかれていない

Copyright © Gakken Co., Ltd. All Rights Reserved.

■ 「いい困りごと」の条件

STEP4

ここまで出てきた困りごとで

①**解決したいと心から思える**、②**大きな課題**、③**あまり気づかれていない**ものを1つ選び、理由も書いてみよう

※書けたらまとめて提出箱に提出。

Copyright © Gakken Co., Ltd. All Rights Reserved.



<みなさんが選んだ「いい困りごと」の条件にあてはまるもの>

ソフトボール用のグラウンドが少ない
<理由>
野球のグラウンドは多いけど、ソフトボールのグラウンドはあまりなくて練習ができない。

色々なスポーツ観戦をして楽しみたいがルールを覚えるのが大変
<理由>
ルールを理解できると楽しく観戦できるが覚えるのが難しい。

子どもが一人で病院を受診できない
<理由>
親が忙しくてなかなか病院に行けない。

ユニフォームの種類
<理由>
タンクトップが基本だが、着たくない人もいる。

食べ放題に一人で行くと冷たい視線で見られる
<理由>
一人でも食べ放題に行きたいけど、周りの目が気になっていけない。

暗所恐怖症の人でも映画を映画館で観たいのに暗くて見れないこと
<理由>
大画面で見たいけど暗いと気分が悪くなってしまったりする。明るいところでも見たい。

キャラナビのつばやき



今回のワークでは、なかなか書き出せなかった人もいたのではないのでしょうか？ 普段あまり考えることのない視点でものごとを考えたためでしょう。でも、今回をきっかけに、日頃の生活の中で、「これ、困りごと(課題)だなあ」「この困りごとは、いい困りごとにあてはまるかも！」など、ぜひたくさん見つけてみてください♪

課題発見

